

統合前後の教育活動等に関する評価票

評価項目		ねらい	平成16・17年度(統合前)	平成18・19年度 (旧第六中校舎活用)	平成20・21年度 (新校舎)	評価	資料
教育活動全般	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な統合 少人数の学級へ対応した授業の工夫 合同授業などの推進 新校舎の活用 教科教室型授業への対応 ICT機器の活用に向けた教職員研修 統合新校の特色づくり 工夫した教育課程の編成 教科教室を活用した学習指導の充実 多様な教育内容の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数への対応(2中では、体育など他学年と合同実施) 3校の合同授業は未実施 18年度からの新たな教育課程編成に向け専門部会「教育課程等準備委員会」(各校2名で構成)を設置し協議・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器活用研修(夏季休業中に2日間・教室を新校舎仕様にしたうえで模擬授業等実施) 18年度から1年生に対し教科教室型授業を实践 特色ある教育課程の編成(選択教科実施の工夫) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科センター方式を活用した指導の充実 ラーニングセンターを活用した多彩な授業の実施 ICT機器を活用したわかりやすい授業の展開 エコ・スクールを生かした環境学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特色づくりに向けた専門部会など統合に向けた十分な準備がなされた。 少人数の学校への適切な配慮がなされた。 他校との合同授業実施については生徒の移動等も含め実施内容や方法について検討が望まれる。 新校舎において、校舎の特徴を生かした教育活動が実践されている。 ICT機器活用により、授業が分かりやすいという生徒の声が多くなり、教員のICTを活用して指導する力が高まった。 教員コーナーの活用など一部に、より有効な活用に向けた検討が必要である。 新校舎の教科センター方式などのコンセプトを継承していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程届抜粋(資料1-3参照) 研究紀要(抜粋-資料2-1)
	特別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> 交流及び共同学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 情緒障害心身障害学級としての教育活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の障害特性に応じた教室配置の検討と、交流及び共同学習等の検討・実施(19) 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した授業の実施 校舎の特性を生かした交流、共同学習の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器活用により、生徒の実態に応じた効果的な支援ができた。 交流及び共同学習による集団適応力や社会性が身に付いてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究紀要(抜粋 P34～36)
	学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事への相互参加による円滑な統合 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会への相互参加の実施(16,17) 	<ul style="list-style-type: none"> 行事等の通常実施 	<ul style="list-style-type: none"> 行事等の通常実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校同士の相互理解が深まり円滑な統合に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程届(抜粋)
	宿泊活動	<ul style="list-style-type: none"> 合同実施による円滑な統合に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> 移動教室・林間学園の3校合同実施(16,17) 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊活動の通常実施 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊活動の通常実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校同士の相互理解が深まり円滑な統合に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程届(抜粋)
	生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会・学年委員会の交流 	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導部関係部会において新たな生徒会会則の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな生徒会組織の編成と運営 	<ul style="list-style-type: none"> 新校舎での新たな活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校同士の相互理解が深まり円滑な統合に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導主任会研究集録(抜粋 P40～42 資料2-2)
	生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な統合 多様な人間関係の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 各校の教員からなる専門部会「生活指導部関係部会」を設置し、学校生活におけるルールの統一化を図り、17年度から実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒手帳を身分証明証に変更 別に「学校生活のきまり」を作成 新校舎に適した生徒手帳の検討 スクールカウンセラーを活用した生徒の心のケア対応 	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識を高める指導と学習 生活のルールの徹底 年度当初に、教室移動を想定した「行動訓練」の実施 教科教員コーナーでの日常的な生徒の行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> 早期に校則の統一化を図ったことにより円滑な生活指導が図られた。 スクールカウンセラーの活用による生徒・教職員の心のケアが図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究紀要(抜粋 P43～44) 生活指導主任会研究集録(抜粋 P40～42)
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の視点を踏まえた進路指導の充実と新校舎の特徴を活用した進路指導の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程等準備委員会においてキャリア教育の視点を踏まえた進路指導計画の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 18年度キャリア教育として先行的に職場体験5日間実施 	<ul style="list-style-type: none"> ラーニングセンターなどの活用による進路指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の有効活用による進路指導が充実した。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究紀要(抜粋 P37)
部活動	<ul style="list-style-type: none"> 合同部活の推進 多彩な部活動の実施と活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 合同部活実施(16,17) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿った部活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿った部活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数・教職員増により部活動数の増加につながった。 生徒の選択肢の多様化と部活動の活性化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導主任会研究集録(抜粋 P42～43) 統合前後の目黒中央中学校学級数・生徒数・教職員数・部活動数の推移(資料1-2参照) 	
職員体制	<ul style="list-style-type: none"> 学級減があった場合にも、十分な教員配置に努める 主要5教科における複数教員の配置 校務負担の分散 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模化が進む2中へ統合の前年3名加配 	<ul style="list-style-type: none"> 統合初年度は、学級数が8学級のため、当初のねらいは達成できなかったが、2年目から主要5教科に複数教員の配置が可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 主要5教科に複数教員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数の学校に対し十分配慮した教員配置が実施された。 主要5教科に複数教員の配置が可能となった。 教職員数の増による指導・研修体制の充実と校務分掌の分散化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 統合前後の目黒中央中学校学級数・生徒数・教職員数・部活動数の推移(資料1-2参照) 	
小学校・PTA・地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 学区域小学校や高等学校等、他校種との連携の推進 地域等との連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 統合新校設置協議会が、各住区住民会議・町会・自治会及び関係小中学校PTAなどから選出された委員により設置された。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験授業、部活動体験入部など学区域の小中学校だけでなく周辺の小学校へも呼びかけ 6校連絡会の実施 地域教育懇談会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 体験授業、部活動体験入部など学区域の小中学校だけでなく周辺の小学校へも呼びかけ 6校連絡会の実施 地域教育懇談会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 統合に当たっては、広く関係者の意見を聞く場を設け新校に生かすことができた。 他の学校と異なる学習形態について継続した周知が必要である。 学区域が拡大したことによる情報の提供に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学区域図(資料2-3) 	
通学等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 通学方法への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 通学費補助制度の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 通学に要するバス・電車代補助(18,19年度の特例措置) 	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度終了 	<ul style="list-style-type: none"> 時限的ではあるが、保護者負担の軽減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通費補助要綱(資料2-4) 特別支援学級には他の補助制度あり 	